

スイートコーン(バイカラー系)推奨品種

「マーガレット 83」 「カクテル 86」 「パズルコーン 85」

1 来 歴

(1)マーガレット 83 アメリカでF1として交配育成され、昭和61年に発表昭和63年より一般に市販

(2)カクテル 86 アメリカでF1として交配育成され、昭和62年に発表、一般に市販

(3)パズルコーン 85 アメリカでF1として交配育成され、昭和61年に発表昭和62年より一般に市販

2 特性の概要

1)品種の特性

(1)マーガレット 83

ア 甘味強く粒皮の軟らかい食味良好の品種である。

イ ビーターコーンに比べ稈長はやや高い。

ウ 雌穂の大きさはビーターコーンよりやや小さく細い。

エ 熟期は早生でビーターコーンより4～5日程度早い。

(2)カクテル 86

ア 甘味強く粒皮の軟らかい食味良好の品種である。

イ ビーターコーンに比べ稈長はやや高い。

ウ 雌穂の大きさはビーターコーンよりやや小さいが、粒はやや大きい。

エ 熟期は中早生でビーターコーンより2～3日程度早い。

(3)パズルコーン 85

ア 甘味強く粒皮の軟らかい食味良好の品種である。

イ 稈長はビーターコーンよりやや高い。

ウ 熟期はビーターコーンより3～4日遅く、雌穂の大きさ、粒の大きさはビーターコーンよりやや大きい。

2)品種育成元

(1)マーガレット83 カイオニアルファベット・エー・エー K.K

(2)カクテル86 カイ種苗 K.K

(3)パズルコーン85 K.K渡辺採種場

3 推奨品種に採用したい理由

本県のスイートコーンはバイカラー系品種が主体となっており、昭和61年度にビーターコーンを奨励品種として発表している。しかし現地からは熟期の異なる品種の要望が強いことから昨年に引き続きバイカラー系品種について検討した結果、「マーガレット83」

「カテル86」「リスコーン85」が優れていたのを推奨品種として採用したい。

4 適応地域及び作型

- 1) 県下全域
- 2) 作型 ビーターコーンと同じ
- 3) 普及見込み面積 100ha

5 普及上の留意事項

- 1) 栽植距離は、畦幅180cm株間30cm(2条植え)とする。
- 2) 堆厩肥は必ず施用し、10aあたり2~3tとする。
- 3) 各品種とも除けつの必要はない。

6 参考文献資料

- 1) 昭和62年度岩手園試高冷地開発センター試験成績書

7 試験成績

- 1) 主要な試験データ

表-1 収量および品種特性

(昭62:高冷地開発センター)

品 種 名	雌 穂 調整重	雌 穂 長	先 端 不 稔	雌 穂 径	粒 列 数	10a当り 収 量	稈 長	収穫まで の日数	食 味	評 価
カテル 84	317g	19.9cm	2.5%	4.6cm	14.8	1408kg	181cm	86 日	○	×
マーガレット 33	348	19.5	2.6	4.9	15.8	1470	200		◎	◎
ビーターコーン早生1号	384	20.3	22.7	5.2	16.4	1707	182		△~○	×
カテル 86	376	19.3	5.7	5.1	15.0	1630	200	89	○~◎	◎
ハイカラー 80	360	20.4	11.3	4.8	14.0	1599	184		△~○	×
デュイットコーン早生	348	20.5	3.5	4.7	13.4	1467	180		△~○	○
フィッカーコーン 80	340	19.6	1.0	4.8	14.2	1511	189		○	△
デュイットコーン中早生	338	18.7	4.8	5.0	16.0	1503	210	92	○~◎	○
ララミー 85	398	19.9	6.0	5.2	14.2	1769	196		○	○
ビーターコーン	396	20.3	5.4	5.4	16.4	1761	194		○~◎	◎
フィッカーコーン 90	358	19.8	27.3	5.2	14.6	1592	179		△~○	×
デュイットコーン中生	382	19.5	8.7	5.3	18.2	1697	181	96	~○	○
フィッカーコーン中生	380	19.2	5.2	5.4	20.0	1690	199		×~△	△
リスコーン 85	416	19.0	3.4	5.4	16.0	1850	206		○~◎	◎